

本州には Laterite は廣く散在して以前土人に依り稼行せられたるか現今は絶滅せり。

IV バルマ (Burma.)

Pegu 等とす。

(ハ) 日本に於ける鐵鑛分布

本邦に於ける鐵鑛産地は其數頗る多くして百ヶ所以上に達し鑛石は磁鐵鑛赤鐵鑛雲母鐵鑛を含む褐鐵鑛の三種に大別せらる。

鑛量は現存又は確定及び推定の二種に分ち其大要を擧ぐれば下の如し。

	確定鑛量	推定鑛量
磁鐵鑛	四〇〇〇〇〇〇〇屯	相當料
赤鐵鑛	一〇〇〇〇〇〇〇	同
褐鐵鑛	一〇〇〇〇〇〇〇	同

今後各山の探鑛進捗するに隨ひ鑛量は更に増加するものあるは疑なかるへし、尙此外に製鐵原料たるへき砂鐵及鑛滓を多産す。

鐵鑛床の分布、數多の鑛産地中從來著明のもののみにつき左に其概要を略記すへし。

鑛産地名

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 陸中釜石             | 7 同 上閉伊郡達曹部村 |
| 2 同 仙人             | 8 同 下閉伊郡田老村  |
| 3 同 栗木又は人首         | 9 同 同 小本村    |
| 4 同 盛岡附近           | 10 陸奥東岳      |
| 5 同 下閉伊郡老木、花原市、上根市 | 11 羽後北秋田郡大葛村 |
| 6 同 重茂、船越          | 12 同 鳥海山附近   |
|                    | 13 羽前西村山郡    |

- 14 同 東村山村
- 15 陸前柴田郡青根
- 16 同 氣仙郡
- 17 磐城石城郡及常陸多賀郡
- 18 同 上手岡
- 19 同 石川鐵山
- 20 越後赤谷鐵山
- 21 同 加茂鐵山
- 22 同 栗ヶ岳
- 23 同 朽堀及日出谷
- 24 同 猫岩の鑛床
- 25 信濃南佐久郡
- 26 上野國北甘樂郡中小坂
- 27 越中中新川郡立山村
- 28 美濃郡上郡及加茂郡飯地村
- 29 飛驒赤谷村
- 30 志摩國濱島村
- 31 大和洞川
- 32 播磨河原田に於ける鑛床
- 33 同 岩野邊
- 34 美作樫野及其附近
- 35 同 勝田郡棚原

- 36 伯耆日野郡
  - 37 出雲八束郡
  - 38 石見邑智郡
  - 39 同 鹿足郡吉田及美濃郡二條村
  - 40 安藝山縣郡
  - 41 長門に於ける鑛床
  - 42 同 豐浦郡熊ヶ岳阿武郡小川村
  - 43 土佐安藝郡
  - 44 同 中部に於ける鑛床
  - 45 豐前京都郡
  - 46 同 企救郡
  - 47 同 柳ヶ浦
  - 48 肥前大串及多比良
  - 49 肥後阿蘇
  - 50 日向西諸縣郡眞幸
  - 51 薩摩甌島
  - 52 北海道蛇田
  - 53 北海道に於ける砂鐵
  - 54 陸中九戸郡に於ける砂鐵
  - 55 中國に於ける砂鐵
  - 56 此他の地方に於ける砂鐵
- 以上

## 鐵鑛產地別

(1) 陸中釜石鐵山 陸中上閉伊郡にあり、釜石港を去る西五里探掘區域は延長六里幅四里に涉れり、鐵鑛床は片羽山二俣山天狗森の山中に賦存し地形は險峻なり、鐵鑛は磁鐵鑛にして序に多少の接觸礦物を隨伴し又概ね硫化鑛物石英等を含有す、鐵含有量五五パーセント以上にして鑛量は極めて豊富なり、目下田中家に於て探掘中なり、鑛量三千萬噸以上。

(2) 陸中仙人鐵山 陸中和賀郡仙人山の北麓和賀川の沿岸に位す、鐵鑛は雲母鐵鑛にして常に多少の硅石を混し良鑛は概して粉末に破碎し易し、一般に品位良好にして鐵分平均五〇パーセントを含有す、硅石は概して二〇パーセント以下なれとも時には三〇パーセントに上ることあり、仙人製鐵會社に於て之を稼行し居れり、尙ほ和賀川の北岸に於ける遠平鐵山は未だ探掘せられず、鑛量五十萬噸以上。

(3) 陸中人首鐵山又は栗木鐵山 探掘區域は江差郡米里及伊手兩村に跨り東北鐵道水澤停車場より東約六里にあり、鐵鑛は概して磁鐵鑛にして一般に硅石を含有し鐵分五〇パーセント以上のもの多し、栗木製鐵會社に於て探掘するもの之なり、尙ほ附近には雲母鐵鑛及褐鐵鑛を産する處あり、鑛量百萬噸内外。

(4) 陸中盛岡附近の鑛床 鐵鑛露頭は盛岡の北一里米内より市の南東六里砂子澤迄に約七里の間に散在せり、鐵鑛は赤鐵鑛にして鐵含有量三〇パーセント以上にして概して硅質なれとも時に良鑛を産す、其鑛量は豊富なり。

(5) 陸中下閉伊郡老木、花原市、上根市の鑛層 鐵鑛露頭は宮古の西約二里の閉伊川畔に露出す、鑛床は十七八町の間在り多くは花崗岩又は玢岩に接せる石灰岩の接觸部に胚胎す、川の南岸老木にては鑛床は小丘にあり厚さ二十尺延長一七〇尺なり、川の北岸にある花原市には五個の鑛床あり上根市

鑛床は花原市の北東にあり厚さ一尺乃至四尺にして花崗岩に接せる石灰岩中に介在す、鑛石の一部は品位劣等なるも選鑛に困難ならず、鑛石は主に磁鐵鑛にして時に雲母鐵鑛を含有す。

(6) 陸中下閉伊郡重茂及船越に於ける鑛床 重茂は宮古の南東二里半、山日灣に沿へる船越は其南方七里半の地にあり、數多の鑛床あるも四の鑛層を重要なりとす、長洞の鑛床は延長百尺厚さ最厚六尺鑛脈は附近の硅岩中にあり北方タルガ澤に於けるものは厚さ三尺延長六十尺あり、重茂澤の上流にある露頭は延長百尺厚さ十三尺あり、船越に於ては厚さ三尺にして鑛石は雲母鐵鑛にして石英をふくみ良鑛は五五パーセント以上の鐵を含有せり。

(7) 陸中上閉伊郡達層部村の鑛床 鑛床は遠野街道の北達層部村に於て川向ひの山側に存せり、鐵鑛は磁鐵鑛にして鐵分五〇パーセント以上を含む。

(8) 陸中下閉伊郡田老村の鑛床 村の北西約一里半乙部川北側の山地に數多の露頭出現せり、鑛石は黃鐵鑛より變成したる褐鐵鑛にして石英及母岩を交雜す、概して鐵分五〇パーセント内外なり。

(9) 陸中下閉伊郡小本村の鑛床 村の北方青鹿澤に雲母鐵鑛二箇所に鑛脈として硅岩中に胚胎し厚さ一尺乃至三尺とす、鑛石は雲母鐵鑛にして磁鐵鑛を含有し石英は常に存在す、青鹿澤露頭の南約半里平家に於ては磁鐵鑛砂質粘板岩中に介在す、鑛石は磁鐵鑛にして一般に多量の硅石を含み鐵の品位良好ならず。

(10) 陸奥東津輕郡東岳に於ける鑛床 野内驛の南西一里青森の東方に屹立せる東岳の頂上附近に鐵鑛露頭あり、鐵鑛は磁鐵鑛にして石英を含み鐵分五十パーセント内外なり、又同山の南西麓瀧の澤附近にも磁鐵鑛を産す。

(11) 羽後北秋田郡大葛村附近の鑛床 鑛石は雲母鐵鑛にして石英を交へ又黃鐵鑛散在せり。

(12) 羽後鳥海附近の鑛床 沼鐵鑛は鳥海火山の北西及南麓に所々に散在す、數多の鑛床は南北約一里

半東西三十丁内外の區域に散在せり、横岡には五個の鑛床濕潤せる窪地に地表下五寸乃至一尺の深さに存在す、面積は最大のもの九〇〇〇平方尺あり、小瀧には數多の鑛床淺き窪地に存在し、大ヒドに於けるものは最大にして厚さ七尺乃至十四尺面積五一七〇〇平方尺なり。

(13) 羽前西村山郡大檜原村の鑛床 山形の西十一里大檜原川に沿ひて山側に鑛床あり、鐵鑛露頭三十以上もあれと地は頗る不便なり、鐵鑛は磁鐵鑛にして品質良好なり。

(14) 羽前東村山郡切畑村の鑛床 村の南西一里半の地點に一箇の露頭あり、花崗片麻岩中に胚胎す、鐵鑛は雲母鐵鑛にして綠泥鑛物及石英を含有す、一嶺を超え其南方に又一の露頭あり、蓋し前者の連續せるものなるへし。

(15) 陸前柴田郡青根村の鑛床 青根附近に數條の鑛脈安山岩中に胚胎し、青根温泉の南西にあるものは厚さ三十尺以上あるも他は僅に三尺内外とす、鑛石は雲母鐵鑛にして一部は褐鐵鑛に變し常に石英を交ふ鐵含有量約五〇パーセントなり。

(16) 陸前氣仙郡に於ける鑛床 廣田灣沿岸の高田より約三里の矢作村生出川に沿ひて北一里の巨離以内に多數の露頭現はる、一般に磁鐵鑛にして粘板岩又は砂岩に介在せり、此村の北約一里にある夏通に於ける露頭は二五尺の厚さ七〇〇尺の擴かりを有せり。

(17) 磐城石城郡川部村の鑛床 常陸多賀郡大北山の鑛床、川部村の鑛床は關本停車場の西一里半大北山の鑛床は同しく西二里半にあり、川部村の鐵鑛は角岩内に現はれ厚さ三十尺あれとも鐵鑛としては厚さ七尺五寸位なり、鐵鑛は磁鐵鑛にして石英の多量を交ふ、大北山に於ては鑛床厚さ多くは六尺にして鐵鑛は磁鐵鑛にして多少マンガンを混有せり。

(18) 磐城上手岡鐵山及其附近の鑛床 二葉郡に於て大平洋海岸より二里以内に上手岡新山高堀等の多數鐵鑛露頭存在せり、上手岡鐵山阿武隈高原の東腹にあり、富岡停車場より西北西二里、鐵鑛は磁鐵

鑛にして鐵分五〇パーセント内外を含有せり、新山及大堀上手岡鐵山の北二里に位す鐵鑛は磁鐵鑛なり鑛量二百萬噸以上。

(19) 磐城石川鐵山 石川、東白川及ひ石城の三郡境界に位置し白川の東約十一里平の北々西九里の地にありて南北一里東西半里に擴かれり、鐵鑛は磁鐵鑛及赤鐵鑛にして石英と帶狀をなす所多きも選鑛し得へし、鑛石一〇〇分中七八の鐵を含有す、鑛量三百五十萬噸内外。

(20) 越後赤谷鐵山 伊豊川に沿ひ新發田の南東約六里の地にあり、鐵鑛は鱗狀の雲母鐵鑛より成り常に石英を混交し又接觸的鑛物を隨伴す、一般に鐵鑛品位良好にして鐵分五〇パーセント以上のもの多し八幡製鐵所の所屬鐵山之なり、鑛量二百五十萬噸内外。

(21) 越後加茂鐵山 中蒲原郡村上町の南方山中に位し、鐵鑛は主に雲母鐵鑛にして品質良好なるもの多し、八幡製鐵所の所屬なり。

(22) 越後栗ヶ嶽地方 越後三條停車場の南東約七里内外の山中に於て磁鐵鑛及雲母鐵鑛を産す。

(23) 越後朽堀及日出谷の鑛床 朽堀は東蒲原郡津川の南々西四里にあり、鐵鑛は磁鐵鑛にして時には硫化物、石英を混せることあり、又角閃石柘榴石等の接觸的鑛物を雜有することあり、鐵分平均五五パーセントを含有す、日出谷の鑛床は津川の北東約三里の地にあり、鐵鑛は雲母鐵鑛にして常に石英を雜有す、鐵分概して三〇パーセント内外なり。

(24) 越後猫岩の鑛床 長岡市の南方藪神須原兩村に跨り雲母鐵鑛を産する處あり。

(25) 信濃南佐久郡大日向村 臼田の南東約三里にありて鑛床は村の南方にあり、磁鐵鑛なり曾て採掘製鍊せられたることあり。

(26) 上野中小坂鐵山 北甘樂郡中小坂にあり鐵鑛は磁鐵鑛にして石英接觸鑛物を雜有す、曾て採掘製鍊せられたることあれとも現今は稼行せられず。

(27) 越中國新川郡立山村の鑛床 富山市の北東立山村に磁鐵鑛を産す品位良好にして相當の鑛量を存す。

(28) 美濃國郡上郡奥住村 磁鐵鑛の露頭多數あり鑛床の厚さ最大のもの九尺あり。

同 加茂郡飯地村の鑛床 飯地村に屬する木曾川の岸崖に磁鐵鑛床あり厚さ六尺五寸延長三〇尺以上あり。

(29) 飛驒大野郡赤谷村の鑛床 村の南東約三十丁内外に一鑛床あり、鐵鑛は磁鐵鑛にして、品位は鐵分 $61\sim 62$ パーセントとす。

(30) 志摩國濱島村の鑛床 古生層内(或は中生層内)に含滿俺鐵鑛を産す、目下八幡製鐵所に多少の供給をなし居れり。

(31) 大和洞川地方に於ける鑛床 大和吉野郡にあり十津川に沿ひ新宮より十五里餘此地方に於ける鐵鑛露頭の數は六〇内外ありて内二六は硫化鑛床三三は磁鐵鑛床なり、磁鐵鑛は緻密若しくは細粒質にして時に細微の結晶をなすことあり柘榴石輝石等の接觸鑛物は常に多量に存す。

(32) 播摩河原田に於ける鑛床 宍粟郡三方村の西約一里(龍野驛の北約十四里)鐵鑛は磁鐵鑛にして柘榴石を隨伴する部分あり品位概して良好鐵六〇パーセント内外なり。

(33) 播摩宍粟郡岩野邊村 千草町の東北約二十丁にあり鑛床の厚さ三尺あり鑛石は雲母鐵鑛なり。

(34) 美作櫛野及其附近に於ける鑛床 美作眞庭郡にあり鐵鑛は磁鐵鑛にして石英及び柘榴石を隨伴し鐵分五〇パーセント内外なり、此附近久世村に於ても磁鐵鑛を産す。

(35) 美作勝田郡棚原の鑛床 鐵鑛は津山川に沿へる棚原及其東一里内外の休石附近にありて、休石に於ける鑛床は磁鐵鑛の可なりの量を含み磁鐵鑛帶は厚さ二尺五寸を有せり、鑛床は延長一五〇尺追跡し得らる、休石の褐鐵鑛は面積九〇〇〇平方尺に擴かり平均厚さ十二尺を有す、鐵鑛は品位 $61\sim 62$

パーセントなり。

(36) 伯耆日野郡上萩村の鑛床 上萩村は多里村の北西にあり鑛床は花崗岩中に胚胎し厚さ十二尺延長百八十尺あり、鑛石は雲母鐵鑛にして鐵分五〇パーセント内外なり。

(37) 出雲八束郡岩板村及其附近の鑛床 數多の露頭西岩板及其附近に出現せり、鑛石は磁鐵鑛及ひ赤鐵鑛にして常に石英を伴ひ又柘榴石及硫化物を含めることあり、鐵分五五パーセントを含めり。

(38) 石見邑智郡矢上村に於ける鑛床 矢上村の南西に聳ゆる原山の北麓に近き急斜面に曾て雲母鐵鑛を採掘せることあり之れは花崗岩胚胎せり、鐵鑛は鐵六〇パーセントを含有せり。

(39) 石見美濃郡二條村 二條村愛榮は日本海沿岸の須佐の南東約三里高津の南西約三里にあり鑛床は露頭に近く厚さ十尺延長一五〇尺あり、鑛石は地表に近く褐鐵鑛にして地下四尺には磁鐵鑛あり尙地下深さに至れば黃鐵鑛ありて地下に漸次其量を増加する如し。

(40) 安藝山縣郡筒賀村 廣島の北西約十里筒賀村の奥原谷附近所々に數多の露頭散在す、鐵鑛は磁鐵鑛にして鐵分五五パーセントを含有す。

(41) 長門に於ける鑛床 太田村の鑛床 美稱郡太田村の北二十七丁長登の東方烏帽子山に鐵鑛床あり露頭は六〇〇尺追跡し得へく鐵鑛は磁鐵鑛にして鐵分六〇パーセント以上を含有せり、長登の東方に六〇〇尺距りて二個の露頭現はる、其廣は八〇平方尺及ひ二五〇平方尺にして厚さは前者二尺後者一二尺を有す、鐵鑛は褐鐵鑛にして品位良く鐵含有量平均 $\frac{2}{3}$ %内外なり、於福村に於ける鑛床、鑛床露頭は厚さ平均一六尺にして約二五〇尺追跡し得へし、鐵鑛は褐鐵鑛にして、鐵分五五パーセント以上を含有す。

(42) 長門豊浦郡熊ヶ瀧の鑛床 田部の北東約一里熊ヶ瀧の頂上に磁鐵鑛床あり、厚さ四乃至五尺延長一六〇尺あり磁鐵鑛は常に石英を随伴し燐含有量稍多し、長門阿武郡小川村に於ける鑛床、小



川村の鑛床は石英粗面岩中にありて厚さ四尺鑛石は磁鐵鑛にして少量の雲母鐵鑛を交ふ。

(43) 土佐安藝町附近に於ける鑛床 安藝町の北方に清水谷黒礫及同町の西穴内の三個所に鐵鑛層の分布せるありて、鐵鑛は概して暗赤褐色の赤鐵鑛にして硅石の多量を含有し鐵分三〇パーセントなれとも滿俺分を多く含有せり、八幡製鐵所に於て之を使用せり、鑛量は多量なり。

土佐上川内附近に於ける鑛床 幡多郡上川内に近く三個所に鐵鑛層あり、上川内の北二十町内外の天井ヶ森には褐鐵鑛中生代頁岩中に介在し、厚さ五六尺あり、上川内の北方八九丁にある鑛層は厚さ三尺乃至六尺あり、上川内の北西一里半の大屋敷には五個の露頭ありて鑛石は天井ヶ森産を除き何れも安藝産と同種にして硅質赤鐵鑛なれとも滿俺分を多く含有し使用に適するものなり鑛量も相當に多量あるへし。

土佐吾川郡伊野町附近 伊野町附近に於ても安藝産と同種の鐵鑛を産し其量も相當に之れあり。  
(44) 土佐中部に於ける鑛床 高知の西約一里半宗安寺の南側に三露頭ありて東方にあるものは厚さ五六尺中部露頭は同しく二十尺西部にあるものは三四尺なり、鑛石は前記安藝幡多兩郡に産するものと同種なれとも品質は概して良鑛なり、概算鑛量二〇〇〇噸。

(45) 豊前京都郡荊田に於ける鑛床 荊田の東金石の海岸に一の露頭出現せり厚さ七十尺にして二百二十尺の間追跡し得、赤鐵鑛にして少量の磁鐵鑛を交へ鐵分四五パーセントを含む。

(46) 豊前企救郡呼野村 小倉の南方五里呼野村附近に多數の鑛床存在す、鑛床は銅及鐵の硫化物にして變成に係る褐鐵鑛よりなるもの時に磁鐵鑛を産することあり。

(47) 豊前企救郡柳ヶ浦村 大里驛の南西十三四丁目の處に小露頭を有せる鑛床存在す、鑛量一一八〇噸にして鐵鑛は磁鐵鑛にて石榴石雲母等の接觸鑛物を有す平均五五パーセントの鐵を含有せり。

(48) 肥前西彼杵郡大串及多良に於ける鑛床 多良は長崎の北約十里大串は大村灣に沿ひ多良

の北東三里の地にあり數多の露頭存在す、多以良に於ける鑛床は延長五十尺幅三十尺厚さ二十尺あり鑛石は磁鐵鑛なり。

肥前東彼杵郡彼杵及川棚の鑛床 彼杵に於ては鑛床厚さ八尺ありて露頭に沿ひ二百尺追跡し得、鐵鑛は品位劣等鐵三五パーセントを含む、川棚に於ける鑛床は厚さ十尺ありて七〇平方尺上に擴かり、兩者とも鐵鑛は褐鐵鑛なり。

(49) 肥後阿蘇の鐵鑛 阿蘇山の舊噴火口附近に褐鐵鑛を産す、其量は相當に之れありといふ。

(50) 日向西諸縣郡眞幸鑛山 眞幸村内堅にある鑛床は其形不規則にして地上に散在し又は山側又は山谷の窪地に厚層をなせり、鐵鑛は褐鐵鑛及赤鐵鑛にして平均鐵分五〇パーセント内外なり。

(51) 薩摩薩摩郡甑島の鑛床 甑島手打の北西約一里に鐵鑛脈ありて花崗岩中に胚胎す、其外小なる鑛脈其附近に存在す、鑛石は主に磁鐵鑛なれとも時に褐鐵鑛を産することあり。

(52) (イ) 北海道蛇田及附近の鑛床・約十四丁平方の面積上に數多の鑛床散在せり、赤川に沿ひ蛇田の東九丁餘の地に沼鐵鑛十尺乃至二十五尺厚さの鑛層を形成して地下二三尺に存在し約四百八十尺追跡し得、之れより西約一丁の地點に他の露頭出現し厚さ六尺乃至八尺にして三四尺の深さ土壤を以て蔽はる恐らく前者の連續せるものなるへし、此蛇田鐵鑛は輪西製鐵所に於て使用し居れり。

(ロ) 洞爺湖に沿へる鑛床 此附近四個所に露頭出現せり、其他上後志川に沿ひ鐵鑛床の分布せるあり、之等鐵鑛は概して暗褐色にして常に有機物體の隨伴し鐵分約五五パーセントを有せり。

(ハ) ワカタサツプ及ペーペナイに於ける鐵鑛 東俱知安村ワカタサツプ及ペーペナイには蛇田産と同種の褐鐵鑛を産す、其量豊富なり。

(53) 北海道に於ける砂鐵 砂鐵は北海道沿岸に廣く散在し其主たる分布地は噴火灣の西及南西の沿岸渡島の南東海岸北見斜里及網走沿岸國後島等とす、砂鐵は凡て磁鐵鑛にしてチタニウムが多量

64  
を含有せり、噴火灣の西及南西沿岸、噴火灣沿岸に於て後志山越郡黒岩より同しく茅部郡森に至る間に砂鐵の廣大ある層なりて延長十一里廣さ二〇〇尺の地域を占有せり、二五パーセント以上の鐵を含める砂鐵の擴かりは六四二・三七三二平方尺にして厚さ五寸乃至二尺を有す、實測鑛量一九九一六噸、渡島の南東沿岸砂鐵は龜田郡古武井より函館に至る間嶮岨なる地を除きて長さ六里餘廣さ一里の區域を占有せり、三〇パーセント以上の鐵鑛を含む砂鐵の擴かりは二五一・八〇九二平方尺ありて厚さ五寸より二尺に至る、實測鑛量二五八八二噸。

斜里及網走の砂鐵 斜里の東方一里半、ウナベツに於て厚さ五寸の砂鐵三六〇〇〇平方尺の地域を占有せり、網走りの北東二里能取に於ては砂鐵二個所に出現し各々三〇〇〇〇平方尺及び一〇八〇〇平方尺の面積に擴かれり、厚さは平均二寸内外とす、全鑛量實測一・一七三噸。

國後ムイカルシベツの東岸附近に於て砂鐵は第三紀に累積せり、二個の砂鐵層相接近して出現し厚さ五寸にして九〇尺追跡し得べく幅六尺を有す。

(54) 陸中九戸郡に於ける砂鐵 稍々廣大なる分布地域は久慈の盆池附近にあり一般に鐵含有量は不定なれとも一〇パーセント以上なり、砂鐵は二十尺の厚さを有し、延長五里に及び廣さ一里半を占む、鐵鑛はチタン鐵鑛を含める磁鐵鑛にして鑛量は不明なれとも蓋し多大の量を含蓄せるならむ、古代より有名なる地は久慈の北西四里半水澤なり。

(55) 中國に於ける砂鐵 砂鐵は中國山脈に出現し特に其北側に於て著し、分布區域は備中、備後、伯耆、出雲、石見の五國に跨り主たる分布地は備中、阿哲郡備後甲奴郡、雙三郡安藝山縣郡、高田郡、伯耆日野郡、出雲仁田郡能義郡、飯石郡、石見の邑智郡等とす、分布區域は延長二十五里幅十二里餘に達し鐵含有量は岩石により相違し概して閃綠岩に多量に存し、花崗岩及び花崗斑岩に少し、鐵鑛は磁鐵鑛よりなり、多少のチタン鐵鑛を含みチタン鐵鑛は閃綠岩より由來せる砂鐵内に豊富に存せり、分析の結果鐵含有

量五六パーセント、チタニウム三、四八三パーセントを含む。

(56) 他地方に於ける砂鐵 砂鐵は我國到るところの溪谷及び海岸に多少存在し特に火成岩地方に出現す、陸前本吉郡、薩摩揖斐郡附近其他鎌倉七里ヶ濱海岸に於て以前稼行せられたることあり、然し其分量は極めて微々たるものなり。

今日迄實行せられたる鐵鑛の調査は一二を除くの外は只地上の踏査に止まるを以て、各調査者に依り相違あれ共、普通の鑛石に硫化鐵、砂鐵等を加ふれば其量一億噸以上に達すべく、而して其質は概ね佳良にして能く製鐵の原料に適す、今左に採掘すへき價値ある鑛床の鑛石分析表を掲ぐ、此分析表は鐵分一〇〇に對する夾雜物の%を示すものなり。

鐵 鑛 (鐵一〇〇に對する夾雜物)

産地	滿 俺	銅	硫 黄	磷
陸 中 釜 石	〇、三二	〇、三五	〇、〇七	〇、〇四
同 佐 比 内	〇、四一	痕跡	〇、〇二	〇、〇六
同 二 股	〇、三〇	〇、〇三	〇、〇六	〇、〇四
同 高 前	〇、四三	〇、〇一	〇、〇四	〇、〇六
同 下	〇、三四	〇、〇三	〇、〇六	〇、〇六
同 砂 子 澤(一)	〇、四六	痕跡	〇、〇一	〇、六七
同 同 (二)	〇、一一	同	〇、〇一	〇、七六
同 築川金山澤	〇、一二	同	〇、二八	〇、六〇
同 下 有 住	〇、六六	〇	〇、一六	〇、一四
同 下閉伊老 木	〇、三一	痕跡	〇	〇、〇三

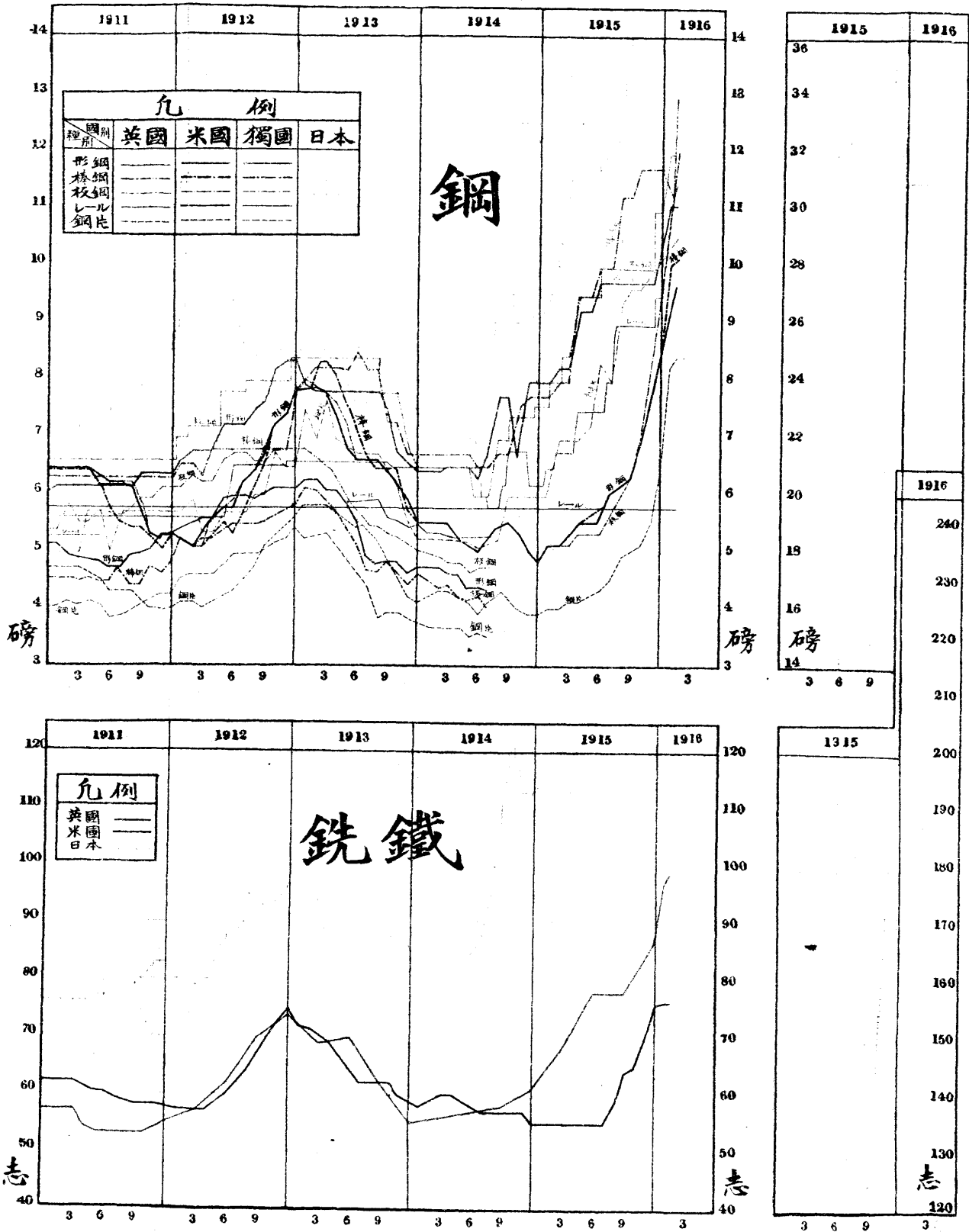
陸中重茂	〇	〇、〇三	〇、一四
同 淺岸	〇、四六	痕跡	〇、二〇
同 仙人山三角	〇、〇八	不明	〇、〇四
同 同 金脈	〇、〇八	同	〇、〇八
同 同 遠平	〇、〇八	〇、〇六	痕跡
磐城石川	二、〇〇	〇	〇、二〇
同 上手岡	〇、二二	〇	〇、〇二
同 大堀	〇、三一	〇	〇、〇三
越後赤谷場割澤	不明	〇、〇六	〇、一七
同 籠久保澤	同	〇、〇四	〇、五四
同 同 簀立澤、水無澤	同	〇、〇五	〇、四五
同 同 源兵衛野巢	同	〇	〇、二一
同 粟ヶ岳七ヶ所平均	〇、二六	〇、〇四	〇、〇九
同 同 北吾川村四ヶ所平均	〇、二六	〇、〇三	〇、〇五
同 同 廣谷	不明	〇、一五	〇、一九
同 同 日出谷	同	〇、〇八	〇、二七
上野中 小阪	同	〇、〇八	〇、八六
陸前人首蛇ノ鼻	〇、〇二	痕跡	〇、二一
同 磁石	〇、四二	〇、七一	一、〇四
同人首 バツクホラ	〇	痕跡	〇、〇四
			痕跡
			〇、八一



# 日英米獨四ヶ國ニ於ケル各種鋼及銑鐵價格比較表(一九一一年以降)

價格ハ一英噸ニ付磅又ハ志

(工作局車輛課)



獨國ノ分ハ英國市場ニ於ケル價格, 他ハ其國ノ市價ニシテ何レモ英貨ヲ以テ表ハセリ

## 本表調製ノ參考書

- |     |                                 |                                   |
|-----|---------------------------------|-----------------------------------|
| 日 本 | 東京金物新報                          | 農商務省鑛山局調                          |
| 英 國 | Iron & Coal Trade Review.       | Engineering.(英國雜誌) Iron Age(米國雜誌) |
| 米 國 | Iron Age.(米國雜誌)                 |                                   |
| 獨 國 | Iron & Coal Trade Review.(英國雜誌) |                                   |

鐵道院發行業務研究資料ヨリ轉載